

令和3年度 教職員等環境教育・学習推進リーダー育成研修
～ SDGs 達成に向けた教育推進リーダー育成のための環境教育・ESD 実践講座 ～
実施要項
(主催：環境省 協力：文部科学省)

1. 研修の趣旨

環境教育は、「持続可能な社会の構築」を目指して、学校、地域、家庭等のあらゆる場において行われるものです。

私たちは、環境・経済・社会に関わる複合的な危機や様々な課題に直面しており、環境教育において、持続可能な社会の構築に向けた多様な視点からの取組が求められています。国内外での潮流や、複雑化する環境・経済・社会の課題の統合的な解決に向けて、環境教育の取組においても、これまで以上にESD（持続可能な開発のための教育）の実践を通して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向かう意欲と実践力・行動力を育成していく必要があります。

学校においては、新学習指導要領に基づき、持続可能な社会の創り手となることが期待される子供に、生きる力を育むに当たって、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた授業改善を図り、自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる等の資質・能力を教科等横断的な視点で育成するとともに、それらを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図ること（カリキュラム・マネジメント）が求められています。

地域においては、環境教育等促進法の基本方針で、持続可能な社会づくりに主体的に参加する意欲を育むための「体験活動」を取り入れた環境教育プログラムが重要視されています。こうした「体験活動」の意義を踏まえて、地域や民間企業の「体験の機会のある場」を「地域や国を越えた交流の拠点」と位置付け、「地域循環共生圏」の創造に寄与していきます。体験活動は、学校教育だけでなく、企業等の社員教育や、地域住民への普及啓発等にも有効です。

本研修は、これらを踏まえ、持続可能な社会の構築を目指し、さらにSDGsという世界共有の未来の価値を相互に磨き合う協働・共創を通して、学校や地域における質の高い環境教育・ESDを実践・推進するリーダーとなる人材を育成していくことを目的に開催します。

2. 研修の内容

本研修には、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指す「カリキュラム・デザイン・コース」と、環境教育における体験活動の実践力向上を目指す「プログラム・デザイン・コース」を設けています。

■カリキュラム・デザイン・コース

学校や地域において、教科横断型で地域共生の視点を取り入れた環境教育・ESDを実践・推進していくリーダー人材を育成することを目的とします。

今年度は、集合型研修①および②と講師派遣型研修を実施します。

集合型研修①（オンライン開催）

環境教育・ESD のカリキュラムをデザインする力を養うことができるよう、講義とグループワーク（各教科等と関連させた環境教育・ESD の指導計画表〔所謂、ESD カレンダー〕を作成するための演習）で構成します。

※ オンライン会議システム『ZOOM』を使って実施します。講義のみの参加も可能です。

●対象：学校関係者（小・中・高校等の教職員など）

●日程：

第1回 令和3年9月23日（木・祝）

【講義】 10:00～12:00（定員 100 名程度）

【グループワーク】 13:00～17:00（定員 40 名程度）

第2回 令和4年1月23日（日）

【講義】 10:00～12:00（定員 100 名程度）

【グループワーク】 13:00～17:00（定員 40 名程度）

●備考：

グループワークでは、Google スライド／スプレッドシートを使用します。

集合型研修②（対面式）

グループワーク（各教科等と関連させた環境教育・ESD の指導計画表〔所謂、ESD カレンダー〕を作成するための演習）を対面式で開催します。

研修開催日までに、研修ビデオで事前学習（講義の受講：約2時間）をしていただきます。

※ 研修開催前の約2週間、Youtube で研修ビデオを配信します。

※ 新型コロナウイルスの感染状況によっては、延期または中止となる場合があります。

●対象：学校関係者（小・中・高校等の教職員など）

●日程：令和3年11月23日（火・祝） 13:00～17:30（定員 100 名程度）

※ 新型コロナウイルスの感染状況によっては、延期または中止となる場合があります。

●場所：TKP 大宮駅西口カンファレンスセンター

(<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-omiya-nishiguchi/access/>)

講師派遣型研修

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して集合型研修と同様の研修会を実施します。ホールスクール・アプローチの向上にお役立てください。

●対象：学校、教育委員会、地方公共団体など、全国12ヶ所

●日程・内容：派遣先のご希望に応じて柔軟に対応します。

メール【esd-kenshyu@jeef.or.jp】でご相談ください。

●条件：研修参加者が20名程度（以上）確保できる

研修時間を3～6時間程度確保できる

研修会場（教室等）の確保 および 新型コロナウイルス対策を講じること

※ 研修終了後、本研修の受講をどのように活用しているかを問う「フォローアップアンケート」を実施させていただきます。

※ 講師派遣に伴う費用（交通費、宿泊費など）、参加者への資料送付に係る費用は、研修運営事務局で負担いたします。

●本研修の活用例

- ・学校全体での取組を推進するための学校での研修会や勉強会
- ・地域単位で環境教育やESDを推進するための教育委員会等主催の研修会や複数の学校同士による合同研修会
- ・地域が連携した環境教育・ESDを推進するための教職員、行政職員、地域の環境教育関係者等を対象とした地方公共団体や教育委員会主催の研修会

講師 (50音順)

石田 好広 氏（目白大学 教授）

岡本 弥彦 氏（岡山理科大学 教授）

小澤 紀美子 氏（東京学芸大学 名誉教授）

關口 寿也 氏（東京都多摩市立連光寺小学校 校長）

棚橋 乾 氏（全国小中学校環境教育研究会 顧問）

松井 孝夫 氏（日本自然保護協会 自然観察指導員養成事業アシスタント）

■プログラム・デザイン・コース

持続可能な社会づくりへの主体的な参加を促進していくうえで有効な「体験活動」を企画・実践していくことのできるリーダー人材を育成することを目的とします。

※ 体験型環境教育の質の向上や専門的な人材育成を目的に設立した「体験の機会の場」研究機構等と連携して行います。

※ 新型コロナウイルスの感染状況によっては、延期または中止となる場合があります。

●対象：学校教職員のほか、行政関係者、民間企業やNPO/NGOのスタッフ、大学生・大学院生等、環境教育や体験活動、地域づくりに関心のある方

●日程：各研修の詳細は、研修公式サイトでご確認ください。

<「体験の機会の場」で実施する研修>

① 「体験の機会の場」森の墓苑

【日程】令和3年10月28日（木）

【場所】公益財団法人日本生態系協会（千葉県長生郡）

② 「体験の機会の場」株式会社相愛

【日程】令和3年10月予定

【場所】株式会社相愛（高知県高知市）

- ③ 「体験の機会のある場」市田プラント・KAYAMA ファーム
【日程】令和3年11月4日（木）
【場所】加山興業株式会社（愛知県豊川市）
- ④ 「体験の機会のある場」清泉寮新館及びキャンプ場を含むその周辺の森林
【日程】令和3年12月10日（金）
【場所】公益財団法人キープ協会（山梨県北杜市）
- ⑤ 「体験の機会のある場」藤クリーン株式会社リサイクルセンター
【日程】令和4年1月28日（金）
【場所】藤クリーン株式会社（岡山県岡山市）
- ⑥ 「体験の機会のある場」雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス
【日程】令和4年2月予定
【場所】特定非営利活動法人雨煙別学校（北海道夕張郡）

< 国立公園・国定公園で実施する研修 >

- 「国立公園での環境教育活動」～尾瀬国立公園の保全とサステナブルツーリズム
【実施事業者・場所】東京パワーテクノロジー株式会社（群馬県片品村）
【日程】令和3年10月16日（土）
- 「国定公園での環境教育活動」～南房総国定公園の保全と活用
【実施事業者】NPO 法人千葉自然学校（千葉県南房総市）
【日程】令和3年12月26日（日）

3. 申込方法

研修公式サイトにある「お申込フォーム」に必要な事項を御記入の上、送信してください。

（※講師派遣型研修のみ、メールで御相談ください。）

【研修公式サイト】 https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

【申込期限】 各研修開催日の2週間前まで

※ 原則、先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。

【研修受講前の準備について】

カリキュラム・デザイン・コースの研修受講においては、事前にご記入いただきたい用紙（事前課題シート）がございます。詳細については、お申込み後に送付する「研修のしおり」を御参照ください。

【その他】

●受講料は無料です。オンライン視聴における通信料金等は自己負担となります。また、研修会場や集合場所までの交通費や食費、宿泊費等も自己負担となります。

●参加者には後日、本研修のフォローアップのため、本研修で得た学びをどのように活用されたか等についてお聞きいたします。（実践事例などがあれば、本研修 Web サイト、環境省 Web サイト、各種研修等を通じて、取組紹介をさせていただく場合があります。）

【研修に関してのお問合せ】

研修運営事務局：公益社団法人日本環境教育フォーラム内（担当：清水）

URL：https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

MAIL：esd-kenshyu@jeef.or.jp

TEL：03-5834-2897 FAX：03-5834-2898